



「尚徳」12月号 第591号 令和3年12月23日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>



題字「尚徳」は、住川英明 地域学部教授 (元校長)

教職という仕事

校長 山下 博樹

ワクチン接種が進んだ秋以後、新型コロナウイルス感染症の感染者数は全国的に大幅に減少しました。諸外国のなかにはワクチン接種率が日本と同等の国でも感染が再拡大している国も多くあります。感染予防対策としての日常的なマスク着用など、この間の新しい生活習慣を地道に継続している効果だと思われます。とはいえ、現状では小学生の多くはワクチン未接種であり、他県では小学校でのクラスター発生が散見されることから、本校としても気を緩めず、これまで通り感染予防対策に取り組んでいかなければなりません。

さて、毎年秋になると鳥取県と鳥取市の教育委員会の方々とお会いする機会が多くなります。教育委員会のみなさんとの会合の中でしばしば話題となるのが、県内の深刻な教員不足の状況です。鳥取県は数年前から教員採用試験の会場を大阪にも設けるなど、志願者の確保に奔走しています。かつては「聖職」とも呼ばれた教員ですが、保護者のみなさんには「学校の先生」がどのように映っているのでしょうか？私も二十数年前まで私立中学・高校の教諭を務めていました。当時の公立学校の教員採用試験は全国的にとっても難関で、教科によっては100倍を超える競争率にもなっていました。その後、民間でも厚遇の企業が増える一方、高倍率の厳しい採用試験と多忙な勤務のイメージから次第に教職志願者が減少しています。図らずも中学、高校、大学での教員経験を経て、小学校の現場で先生方の仕事を見ていると、世間でイメージされているような過酷な仕事ではなく、子供たちの成長を支えるやり甲斐のある仕事だと感じます。マスコミなどの偏ったイメージでなく、真の姿をより広く知ってもらうことが必要なのだろうと思います。本校の子供たちの中から、日々明るく勤務する教員の姿を間近に見ながら、「将来の夢は学校の先生」と思ってくれる子供が増えていくことを願っています。

最後になりましたが、この1年間、本校の教育や諸活動に多大なご理解とご支援を頂戴しましたことに厚く御礼を申し上げます。新年も引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

1月の行事予定

1日 (土) 元日	17日 (月) 【A週】	
2日 (日) 年始休日	6年3校時後下校	
3日 (月) 年始休日	研究日	
6日 (木) 冬季休業日終了	18日 (火) 1年附幼小交流会	
7日 (金) 【B週】	19日 (水) 5年「雪の学校」	
冬休み明け全校集会	20日 (木) 5年「雪の学校」	
記名調べ	21日 (金) 1年附幼小交流会	
路線別児童会	6年給食後下校	
5校時後集団下校	24日 (月) 給食週間 (~28日)	
10日 (月) 成人の日 (休日)	研究日	
11日 (火) 【B週】	25日 (火) わくわくタイム	
研究日	26日 (水) 代表委員会	
12日 (水) 1~5年DRTテスト	令和4年度入学児童保護者説明会	
委員会活動	31日 (月) 【A週】	
職員会議	研究日	
14日 (金) 集金引落日		

「実りの学校」日程のお知らせ

各学年が「キャリアに拓く」の学習を含む生活科や総合的な学習の時間で学習したことを発表する「実りの学校」を、次の日程で開催します。いずれの学年も午後の開催を予定しています。詳しい内容は1月にご案内します。

1年生	2月2日 (水)	2年生	2月3日 (木)	3年生	2月4日 (金)
4年生	2月7日 (月)	5年生	2月8日 (火)	6年生	2月9日 (水)

学校の様子・子供の様子

*** キャリアに拓く***

10月から12月にかけて、各学年の「キャリアに拓く」の学習が行われました。この学習は大学附属や地域の機関と連携してそれぞれの活動や仕事を体験したりお話を伺ったりすること、また、その過程でその活動や仕事に従事しておられる方の情熱や職業観を感じ、学ぶことを通して、子供自身のキャリア形成を目指しています。子供たちは、この学習で学んだことを2月の「実りの学校」で発表します。

それぞれの学年の体験活動の様子を紹介します。



1年生

地域学部や農学部の先生方の研究室を訪問し、それぞれの先生の研究の一部をお話していただいたり、質問に答えていただいたり、体験をさせていただきました。初めて訪れる大学内に、みんな目を輝かせていました。

2年生

地域学部、農学部、工学部の先生方の研究室を訪問しました。1年生よりさらに踏み込み、子供たち自身が興味をもった研究室を選び、インタビューをして、先生方の研究の内容やこの仕事をされようと思ったわけなどを詳しく教えていただきました。



3年生

総合的な学習で湖山池についての調査活動と関連させて、農学部の小玉先生に湖山池の詳しい話を体験とともに教えていただきました。湖山池の汽水と淡水についての実験を交えたお話で、子供たちは環境に対する視野を広げることができました。

4年生

山陰海岸ジオパークを通した人と自然の持続性の維持・向上についての学習と連携し、海と大地の自然館と砂丘ビジターセンターの方に現地でお話をお聞きしました。大地の歴史などを知るとともに、活動を進めておられる方々の思いを受け取りました。



5年生

医学部を訪問し、内視鏡やエコーの操作などで医療の体験をしたり、職員の方の医療にかける思いをお聞きしたりしました。活動の中で職員の方々の生き方に出会い、子供たち一人一人が自分の将来や生き方について考えることのできる学びとなりました。

6年生

工学部を訪問し、プログラミングやアプリ作りの体験を通して、社会を便利にしていく仕組みを作る工学の研究について触れました。体験の楽しさだけでなく、研究者の思いや情熱にも触れることができ、とても充実した活動となりました。

